

月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

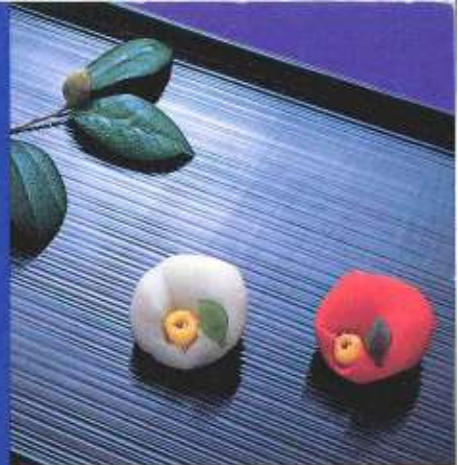
えくてびあん

3

〈EKUTEBIAN-VOL.3, MARCH 1986-EKUTEBIAN〉



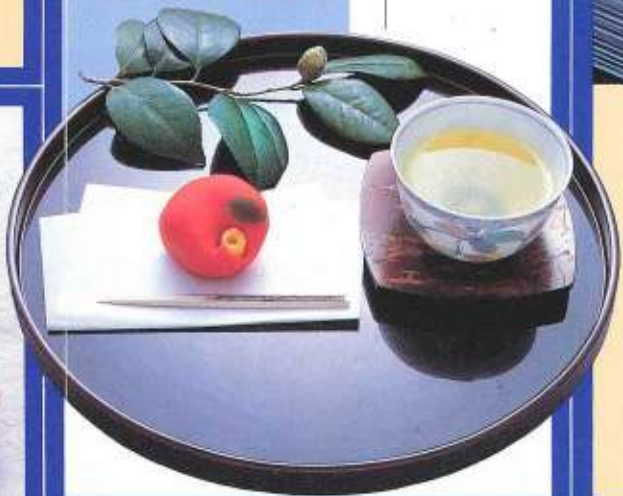
まい あーと・銅人形 by 赤川政由



和菓子 精選

おかしが美味しい立川の街

おかしには、おかしのごころがあります。とくに、ほんのおかしはきせつをだいたいにして、なげないふせいのなかに、きじつのすいをつくします。いただきまじよう、たちかわのおかしにたくしたはるのこころを。



たちばな

幸町六丁目

大きめのネリキリは百三十円と割安。うまい菓子を多くの人に食べてもらいたいとの心意気か。

日の出屋

曙町二丁目

創業五〇年の味をまもって。和菓子の良さを現代に伝えるためにマッチしたみんなの味をしがんばっている。



菊一陣

富士見町七丁目

立川で店を始めて十二年。菓子好きの人が何度も足を運ぶほど、御主人のつくる菓子には定評がある。

宝泉製菓

高松町二丁目

立川に和菓子の味を芽生えさせて四〇年、その味をもっと多くの人にわかってもらえるような形を考えているという。



ゆうき

錦町一丁目

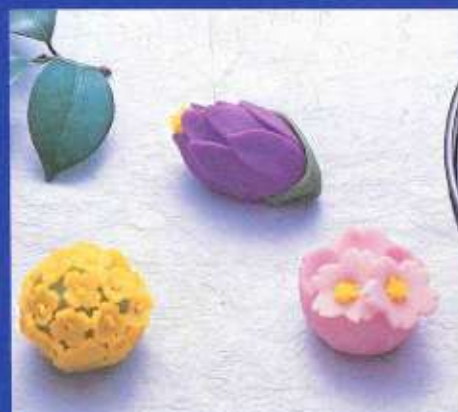
伝統を大切に、新しい感覚をプラス。控え目の甘さについついもうひとつと手が出てしまいそう。



甘泉堂

曙町一丁目

御主人の手にかかると、どんなモチーフもたちまち和菓子になっってしまう。職人芸のあざやかさだ。



時代おくれのランチボックス

—いまどき"愛妻弁当"ですと—



▼立川郵便局(曙町2丁目)



星さん
おかずたっぷり。
「皆に分けてあげたら？」と奥さん。
川島さん
いちご入りのお弁当
甘い甘い新婚3ヵ月。
ビタミン入り、なんて周囲の声が。

▶川口商店(錦3丁目)



佐藤さん
「ほんとは外食希望」なんて云って
るけど、この食べっぷりじゃ内心、
ペント一万才!



▲東京信用保証協会(榮町2丁目)
深沢さん
愛妻、本を山積みにして「弁当
大研究」。その成果はいかに?
藤崎さん
ケンカのあとの弁当は、メシの
上に目玉焼一つだけですって。

▶第一デパート(曙町1丁目)

魚力の須田さん
風雪28年、ここまでくると
「熟年弁当」ですなあ。
▲NPKキャノン事務機立川
(錦町1丁目)
柚木さん
「あわてるパパはもらいが
少ない」お子さんの弁当と
間違える日が。



▲立川平安閣(曙町1丁目)
小平さん
ご当人は「愛憎弁当」だなんて
云っておりますが、内心の笑顔、
見えてますぞ。



▲立川平安閣(曙町1丁目)
小平さん
ご当人は「愛憎弁当」だなんて
云っておりますが、内心の笑顔、
見えてますぞ。



▲立川消防署(高松町2丁目)
奥秋さん
結婚当初、奥様に
「お弁当を作ると、
日ボウズなら作るな」と、
以来ズーッと。



飯塚さん
健康第一、朝も昼もシ
ツカリ食べて、「キャッ
ン外食じゃ身がもたん」
そうです。

外食産業の時代だそうである。ズにのって、弁当屋もまた大繁盛。その中であって、ひたすら「手弁当派」がいけないわけじゃ、ない。よれよれのズボンをはいて、うつむき加減に弁当をひろげるグサイ姿を連想したら、大きな間違い。この堂々の食いつぶり。あなたには愛するツマはいないのか」と語りかけている、人生への自信。どちらが「時代おくれ」か、よく考えてみよう。

中善寺校長先生と関係
立川市の中善寺校長先生との関係がPTA主催の2月10日に行われた。心から子供達を愛する先生の話しに本場の教育のあり方を会場は、拍手喝采で受け止めた。

3月1日～3日
中高年のための春の
ブラウス展示即売
森淑子編集
於:WILL 9F
朝日ホール
500名限定

立川
砂川九番店
Phone 0425 37 4413

送形教室
めいりん館となせり子
子供達は物を造ることで、
考えの力・創造力・忍耐力を
つけることが出来る。
▶入会金(おやつ代金)2,500円
1ヶ月 2,500円
3ヶ月 7,500円
▶詳しくは
0425 (24) 1509 田中
0425 (23) 0913 尾崎 まで

三世代ズレ料理「農園」
立川市神奈川会館
4月6日(雨天時13日)
9:00-15:00 申込み受付
申し込みは3月11日迄25日迄
Tel 24-2105
(立川市神奈川会館)

漢字テスト
②
空欄に一字挿入を試みよう。
一 □ 托生
一 □

立川クイズ
今年も卒業の季節がやって来ました。通い慣れた校舎と別れるのは寂しいものです。さて今月は学校に因んだ問題です。立川で初めて学校が出来たのはいつでしょうか。
①江戸時代 ②明治時代
③大正時代 ④昭和になって
(2月号の答え)一三六一年に普濟寺の物外和尚の弟子、性了たちが建てた六枚の緑泥片岩に仁王像と四天王像のレリーフがある六面石幢は、大正二年に国宝に指定され、戦後国宝の見直しとともに、新国宝に再指定されました。答えは②

立川・歴史のひとコマ
立川市民俗歴史資料館(昨年12月開設「富士見町」を参照すると「公私日記」という和綴の冊子が目に入ります。現代っ子には大変とつきにくい和漢混交文ですが、これは立川市の旧家鈴木家に長く秘蔵されていた冊子なのです。鈴木家当主の清氏(元立川市市長)より三代前の鈴木平九郎と云う、幕末に柴崎村の名主を勤めた人が、天保八年(一八三七)から安政五年(一八五八)まで、日々の生活の公私にわたる出来事を記録したものです。幕藩体制の崩壊期に平九郎がつくづく来し方、行く末を考えて自分の現在の体験が子孫の役に立つこともあろうと、毎日の諸事件、物価の動向、当時の社会情勢、鈴木家の農業費用等々、あらゆる方面に筆が及んでいます。また二〇年間の公私の出来事を当事者の自由意志で、しかも主観や私情を加えずに客観的に書き残した例も極めて少なく史料価値も特筆に値するものです。

富士銀行
あたたかなサービスで
お迎えします
みなさまの
富士銀行

表紙は語る
銅、細工」といっても、ほとんど力仕事に近い。赤川さんの仕事場を見ているとそれがわかる。この雑然とした仕事場から、どうしてこんな美しい作品がとび出してくるのか。
汗を流しながら赤川さんは「ゲージも楽じゃやないですわ」と大らかに笑う。さすがに大分県出身、九州男児だけあって繊細な中にも豪放な性格がよくでてくるようだ。赤川さんの作品は、室内のみならず戸外にも飾られて街ゆく人の目を愉しませてくれる。
「どうせなら、皆が楽しめる作品を—」
立川の街には、まだチラホラだがやがて赤川作品がひと目につく日も遠くはないだろう。
昨年は奥方(人形作家)との二人展を開いた、和氣満々の芸術夫婦。でもある。

立川・歴史のひとコマ
この日記から当時の鈴木家をめぐる様々な人間模様や世の中の動きが読みとれ、多くの研究者がその成果を発表してきました。一例として「多摩のあゆみ」第37号には平九郎の妻嘉代の姿が河野淳一郎氏によって語られています。これによると、嘉代の書状からは高い教養が窺え、八人の子供の母として家を治める傍ら、名主の夫の実務の一部をも分担していたことがわかります。また、経済面では夫婦別産制で嘉代独自の財産を持ち、夫平九郎が鈴木家財政の借金繰りの苦しい時には妻からの借金で急場を何回か渡っていたと云う記述もあります。嘉代の経済力は当然彼女の発言力を強めたはずで、封建時代の世にあって、嘉代が夫に忍従していたのではなく、公私にわたり夫婦がパートナーとして互いの自主性を認め合っていた姿が窺えます。(KK)

真如苑だより
草木をよく観ると、その芽にはもう春を含んでいて「がんばってね」と声をかけてあげたくなります。3月も真如苑は次の日がオープンです。お気軽にお出掛けください。
日時 3月22日(出) 午後2時～4時
■御本尊、真如宝物を拝見しめとして映画などを盛りだくさんの用意がしてございます。
■立川市民(成人)に限らせて頂きます。
■お申し込みは、えくてびあんコンパニオン(本誌を手渡してくれた人)へ、どうぞ。

工房から
●手造りと云や、いいと思ってる。料理も手づくり、机は日曜大工というご仁も、和菓子には手がでない。その色あ、その風味。職人芸の粋がそこにある。●サツカーはひそかな、ではない大っぴらなチームだそうである。さればわれらがムサシ君のシニエートはテレビで、雑誌のグラビアで一度は目にしているだろう。だが、お立ちあい。実物のムサシが蹴るボールは唸りを立てて翔んでゆく、世界一。だと唸っている。●たかが弁当に「愛情」などという、定冠詞を付けたのは、誰だ? あんなものは、単に「ペント」でよろし。しかし、なんですか。取材してみると、やっぱり。愛情の二字が欲しい人が居ます。●熾爛燃ゆるわれにささやく、えくてびあん

月刊えくてびあん 第20号
昭和六十一年三月一日 発行
発行所 えくてびあん編集工房
東京都立川市柴崎町2-4-11
フラインヒルディング 3F
電話 0425 400082
編集人 立井啓介
発行人 沖野嘉男
印刷所 株式会社立川印刷所

●編集 青葉典子 石塚敬美 岡田子 加賀子
●写真 神山清子 横川理 田中重子 原田礼子
●写真 天野政男 吉田泰治 スタジオ269

真如苑だより
真如苑だより
真如苑だより

真如苑だより
真如苑だより
真如苑だより

Au Coin de Tachikawa



みたか、ムサシの豪快シュート
メモリアル



ボールで球の中心をつかむ練習



マイク 握る手つきもドーに いった

ムサシが蹴ると

ボールが鳴る



わずか10歳のサッカー少年・水島武蔵タンガ
甲身、海を渡って本場で修業。いまやサンハ
ウロFDでプロの扉を獲得、日本人初の快挙と
あって人気沸騰、そのムサシが立川にやって
きた。ひと目でいいからこの眼でムサシを見
たいと、立川のサッカーファン全員集合！

下左・サインも手なれて。これも
プロの条件か
下右・寒風の立川一中グラウンド
で軽く体をならし、さあ
ファイト！

